# 備　前　市　施　策　評　価　シ　ー　ト

| 施策名（小項目） | 斎場の運営と墓地の整備 | コード | 作成者 | 役職 | 環境課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 05-09-38 | | 氏名 | 久保山　仁也 |
| | | | | 電話 | 0869-64-1821・1822 |
| | | | このシート作成に要した時間 | | 2.0　時間 |

| | |
|---|---|
| **この施策のアピールポイント** | 火葬場の運営は、止めることができない施策であり、今後も継続して支障を起こさないように努める。<br>墓地需要は、継続してあるため、市民ニーズを把握しつつ、適正管理に努める。 |
| **この施策の平成28年度の施政方針** | 火葬場・墓地についてでありますが、火葬場の施設については、適正な維持管理に努めてまいります。市営墓地については、需要が多いことから、新たな墓地造成の検討を行いながら、墓地需要の解消に努めてまいります。 |

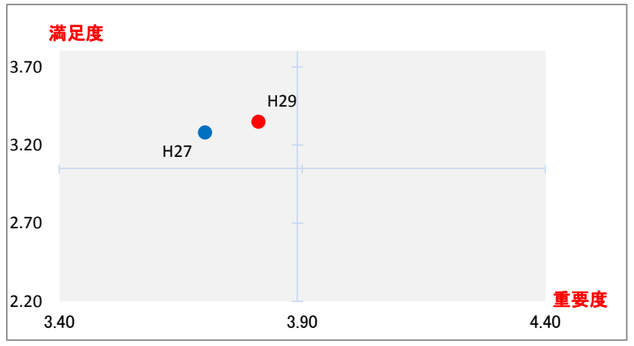
＜備前市総合計画の内容から記載する＞

| | | |
|---|---|---|
| **① 政策の体系** | 基本構想（大項目） | 05 生活環境政策「快適・活力」 |
| | 基本計画（中項目） | 09 環境を大切にして未来につなぐまち |
| **② 対象と目的**<br>（誰のために、何のために） | ・参列者に清潔な環境を提供しながら火葬を執行する<br>・地域のニーズに応じた、市民が利用しやすい墓地を供給する<br>・衛生的な環境(公衆衛生)を保つ | |
| **③ 現況と課題**<br>（総合計画から現在の問題点を抽出） | ・斎場は備前地域と日生地域にあり、現在は、主にそれぞれの地域で使用されている。吉永地域については、和気北部衛生施設組合の施設を主に使用しているがそれらの統合が課題<br>・墓地については、将来の需要を見極めながら整備を進めていくことが必要 | |
| **④ 施策展開**<br>（総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出） | ▪ 斎場の適正な運営<br>▪ 施設整備<br>▪ 火葬執行体制の見直し<br>▪ 墓地の管理<br>▪ 市有墓地の整備<br>▪<br>▪ | |

## ⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

| 調査年度 | | H27 | H29 |
|---|---|---|---|
| 重要度（%） | | 3.70 | 3.81 |
| 満足度（%） | | 3.28 | 3.35 |

《グラフにおける領域の説明》




| | |
|---|---|
| 調査結果に対するコメント、市民の反応等<br>〔調査対象でない施策は、市民の反応等〕 | 墓地整備については、民間による整備もあり、今後も需要を見極めながら、必要に応じて進めて行く必要がある。H27年度と比較し若干満足度が高くなっている。 |

## ⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

| | 施策に対する成果指標名 | | 単位 | 過年度実績 H26 | H27 | 評価年度 H28 | 成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標 | 市有墓地の区画数 | 目標 | 区画 | 1,470 | 1,470 | 1,500 | 現有の市営墓地区画数 | H28 | 1,500 |
| | | 実績 | 区画 | 1,470 | 1,470 | 1,470 | | H32 | 1,564 |
| | | 達成率 | % | 100.0 | 100.0 | 98.0 | | H34 | 1,550 |
| | | ベンチマーク | | | | | | ― | ― |
| 参考指標① | 備前斎場火葬執行件数 | 目標 | 件 | 360 | 360 | 360 | 火葬執行件数 | H28 | 360 |
| | | 実績 | 件 | 379 | 416 | 422 | | H32 | 360 |
| | | 達成率 | % | 105.3 | 115.6 | 117.2 | | H34 | 360 |
| | | ベンチマーク | | | | | | ― | ― |
| 参考指標② | 日生斎場火葬執行件数 | 目標 | 件 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 火葬執行件数 | H28 | 100 |
| | | 実績 | 件 | 74.0 | 106.0 | 101.0 | | H32 | 100 |
| | | 達成率 | % | 74.0 | 106.0 | 101.0 | | H34 | 100 |
| | | ベンチマーク | | | | | | ― | ― |
| 参考指標③ | 和気北斎場火葬執行件数 | 目標 | 件 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 火葬執行件数 | H28 | 50 |
| | | 実績 | 件 | 55.0 | 58.0 | 52.0 | | H32 | 50 |
| | | 達成率 | % | 110.0 | 116.0 | 104.0 | | H34 | 50 |
| | | ベンチマーク | | | | | | ― | ― |
| 参考指標④ | | 目標 | | | | | | H28 | |
| | | 実績 | | | | | | H32 | |
| | | 達成率 | % | | | | | H34 | |
| | | ベンチマーク | | | | | | ― | ― |
| 参考指標⑤ | | 目標 | | | | | | H28 | |
| | | 実績 | | | | | | H32 | |
| | | 達成率 | % | | | | | H34 | |
| | | ベンチマーク | | | | | | ― | ― |

## ⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

| 実施主体 | 新規に必要な事業・連携が必要な事業 | 説明・期待される効果 |
|---|---|---|
| 民間 | 斎場運営事業の委託 | 葬儀は、民間事業者で行っているケースが多くなっており、斎場の運営についても委託への取り組みが必要と考える。 |

## ⑧ 施策の評価

| 項目 | | 評価 | 5：非常に高い　4：高い　3：どちらともいえない　2：低い　1：非常に低い<br>判断理由（なぜ、そのランクと評価したのか） |
|---|---|---|---|
| 1 | ＜成果指標の妥当性＞<br>施策の目的・成果を表現しているか？ | 3 | 市が主体となって、火葬場の維持管理を行い、墓地需用については民間事業者の動向も見極めつつ、公衆衛生を守っていく必要がある。 |
| 2 | ＜事業構成の適当性＞<br>手段は最適か？ | 3 | 墓地については、需要と供給のバランスを見ながら、民間事業者とも協力しながら公衆衛生を守っていく必要がある。<br>火葬場については、市が主体となり、支障を起こさないように適正な維持管理が必要である。 |
| 3 | ＜施策の有効性＞<br>指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは？ | 3 | 墓地整備については、民間事業者による整備も行われており、引き続き需要バランスを見ながら、整備も必要に応じて進める必要がある。 |
| 進行年度(H29年度)の取組内容（課題解決状況） | | | 火葬場については、備前斎場の燃料ガス化を行い、環境に配慮した仕様としている、また炉の大型化も進めて行く。 |
| 翌年度(H30年度)の取組目標 | | | 備前斎場、日生斎場、和気北部衛生施設組合の和気斎場の今後の在り方、効率的な施設の運用も検討していく必要がある。 |
| 二次評価者コメント<br>役職：市民生活部長<br>氏名：今脇　誠司 | | | 斎場については、和気北部衛生施設組合和気斎場の動向を踏まえ、備前斎場の炉の大型化、ガス化をすすめ、今後迎える高齢者数のピークと、それ以後の減少を視野に周辺環境の維持と火葬効率の適正化を図っていく必要がある。墓地については、管理者が遠方であることから用地の返納も考慮し、早期の募集による墓地供給を行う必要がある。 | 基本施策への貢献度<br>**3 中立** |

| 施設 | | 事務事業名 | 直接事業費 H26 | 直接事業費 H27 | 直接事業費 H28 | 構成比 | 前年比 | | 人件費H26 | 人件費H27 | 人件費H28 | 人工数H26 | 人工数 H27 | 人工数 H28 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38 | 1 | 斎場維持管理事業 | 33,694 | 28,541 | 44,324 | 86% | 155% | | 6,276 | 6,994 | 8,886 | 0.94人 | 1.02人 | 1.36人 |
| | 2 | 和気北部衛生施設組合斎場負担金事業 | 4,769 | 5,152 | 5,030 | 10% | 98% | | 80 | 413 | 108 | 0.01人 | 0.04人 | 0.01人 |
| | 3 | 市営墓地施設管理運営事業 | 3,310 | 1,258 | 2,372 | 5% | 189% | | 1,006 | 935 | 1,052 | 0.14人 | 0.12人 | 0.14人 |
| | 999 | 斎場の運営と墓地の整備 | 41,773 | 34,951 | 51,726 | 0.2% | 148% | | 7,362 | 8,342 | 10,046 | 1.09 | 1.177 | 1.51 |

# 備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成28年度事業）

## 事業の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業開始年度 | | 昭和46年度～ | 根拠法令・例規等 | 備前市葬儀条例及び規則<br>日生町営斎場及び葬祭事業に関する条例及び規則 | |
| 総合計画 | 大項目 基本構想 | 05 生活環境政策「快適・活力」 | 問合先 | 担当課（室） | 環境課 |
| | 中項目 基本計画 | 09 環境を大切にして未来につなぐまち | | 職・氏名 | 衛生係長・神田順平 |
| | 小項目 施策 | 38 斎場の運営と墓地の整備 | | 電話 | 64-1821 |
| 事務事業名 | | 01 斎場維持管理事業 | このシート作成に要した時間 | | 1.0 時間 |

Plan

## 事業の目的

| | |
|---|---|
| 対象（誰・何に対して） | 祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民（祭壇・霊柩車については備前地域のみ）<br>斎場を利用する市外の利用者 |
| 目的（何のために） | 適正な火葬及び祭壇業務の執行。 |
| 事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか） | 葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。 |

Do

## 事業の実績

目的を達成するため実施した事業

| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
|---|---|---|
| 備前斎場維持管理事業 | 適正に火葬を執行するために備前斎場・霊柩車等の維持管理を行う。 | ◎ |
| 日生斎場維持管理事業 | 適正に火葬を執行するために日生斎場・霊柩車等の維持管理を行う。 | ◎ |
| 県トラック協会会費 | 県内の営業用自動車所有者で組織されている岡山県トラック協会の会費 | △ |

## 決算額

| 事業費等 | | 単位 | 平成26年度実績 | | 平成27年度実績 | | 平成28年度実績 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 直接事業費 | 千円 | | 33,694 | | 28,541 | | 44,324 |
| | 必要人員 | | 0.94人 | 6,276 | 1.02人 | 6,994 | 1.36人 | 8,886 |
| | 人件費 | | | | | | | |
| | 事業費計 | | | 39,970 | | 35,535 | | 53,210 |
| 財源 | 国県支出金 | 千円 | | | | | | |
| | 受益者負担 | | | | | | | |
| | 繰入金 | | | | | | | |
| | 市債 | | | | | | | |
| | その他（　） | | | | | | | |
| | 一般財源 | | | 39,970 | | 35,535 | | 53,210 |
| 受益者負担比率 | | % | | － | | － | | － |

## 結果指標

| 結果指標名 | 単位 | 平成26年度実績 | 平成27年度実績 | 平成28年度実績 |
|---|---|---|---|---|
| 火葬執行件数（説明：備前斎場及び日生斎場の1年間の火葬執行件数） | | | | |
| 結果指標量 | 件 | 453 | 522 | 523 |
| 対前年比 | % | － | 115.2% | 100.2% |
| 活動コスト | 円 | 39,937,000 | 35,205,000 | 53,176,000 |
| 単位当たりコスト | | 88,161 | 67,443 | 101,675 |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

## 事業の成果

| 成果指標名 | 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| － | 目標値（A） | － | － | － | － |
| | 実績値（B） | － | － | － | 到達目標値 |
| | 達成率（B/A） | － | － | － | － |

成果指標設定の考え方・式や説明

斎場維持管理業務は、成果指標となる判断基準が無い。

Check

## 事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

### 妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ■ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ

- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A B C D E／高い・やや高い・普通・やや低い・低い）：**A**

### 効率性の評価

コスト手段

- ■ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A B C D E／高い・やや高い・普通・やや低い・低い）：**C**

### 有効性の評価

目的達成度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- ■ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A B C D E／高い・やや高い・普通・やや低い・低い）：**B**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

## 進行年度（H29年度）の改革改善内容

| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ○ | | | | | | |

説明：
各火葬炉施設の適正な維持補修整備を行う。
和気北部衛生施設組合で実施している吉永地域の動向に注視しながら、施設の統合を検討する。
昨年度、ガス化工事が完了し、今年度は契約的に炉の大型化を進めていく。

## 総合評価

法令で義務付けられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたし妥当性は高い。
H28年度は、定期改修以外にガス化工事を実施したことにより、単位費用は大幅に高くなっている。

総合評価（A B C D E／高い・やや高い・普通・やや低い・低い）：**C**

Action

## 平成30年度の方向性・取組目標

| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

取組目標：
施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇・霊柩業務については廃止の方向で検討したが、議会で否決された。しかし、地域間で異なるサービスを実施していることもあり、内容を見直す必要がある。
各葬炉施設の補修整備を行う。
和気北部衛生施設組合の動向を注視しながら施設の統合を検討する。
祭壇・霊柩業務については内容を見直す。

# 備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成28年度事業）

## 事業の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業開始年度 | 平成17年度～ | 根拠法令・例規等 | 和気北部衛生施設組合規約 |
| 総合計画 大項目 基本構想 | 05 生活環境政策「快適・活力」 | 問合先 担当課（室） | 環境課 |
| 総合計画 中項目 基本計画 | 09 環境を大切にして未来につなぐまち | 問合先 職・氏名 | 衛生係長・神田順平 |
| 総合計画 小項目 施策 | 38 斎場の運営と墓地の整備 | 問合先 電話 | 64-1821 |
| 事務事業名 | 02 和気北部衛生施設組合斎場負担金事業 | このシート作成に要した時間 | 1.0 時間 |

Plan

## 事業の目的

| | |
|---|---|
| 対象（誰・何に対して） | 主に吉永地域で火葬執行を必要とする市民 |
| 目的（何のために） | 主に吉永地域の火葬執行を円滑に行うため、和気北部衛生施設組合（備前市・和気町・赤磐市で構成）に加入し、分担金を納付している。 |
| 事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか） | 組合で運営する火葬場において、吉永地域の火葬執行を適正かつ効率的に行う。 |

Do

## 事業の実績

目的を達成するため実施した事業

| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
|---|---|---|
| 和気北部衛生施設組合斎場負担金 | 和気北部衛生施設組合で運営する、火葬場の建設費、管理・運営経費を構成市町で分担し納付する。 | ◎ |

| 事業費等 | | 単位 | 平成26年度実績 | 平成27年度実績 | 平成28年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 決算額 事業費 | 直接事業費 | 千円 | 4,769 | 5,152 | 5,030 |
| | 必要人員 人件費 | | 0.01人 80 | 0.04人 413 | 0.01人 108 |
| | 事業費計 | | 4,849 | 5,565 | 5,138 |
| 財源 | 国県支出金 | 千円 | | | |
| | 受益者負担 | | | | |
| | 繰入金 | | | | |
| | 市債 | | | | |
| | その他（　） | | | | |
| | 一般財源 | | 4,849 | 5,565 | 5,138 |
| 受益者負担比率 | | % | － | － | － |

| 結果指標名 | | 単位 | 平成26年度実績 | 平成27年度実績 | 平成28年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 結果指標 火葬執行件数 | 説明 | | 火葬場の経常費分担金を活動コストとして、火葬一件当たりの費用を算出 | | |
| | 結果指標量 | 件 | 54 | 58 | 51 |
| | 対前年比 | % | － | 107.4% | 87.9% |
| | 活動コスト | 円 | 4,849,000 | 5,565,000 | 5,138,000 |
| | 単位当たりコスト | | 89,796 | 95,948 | 100,745 |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

## 事業の成果

| 成果指標名 | 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| － | 目標値（A） | － | － | － | － |
| | 実績値（B） | － | － | － | 到達目標値 |
| | 達成率（B/A） | － | － | － | － |

成果指標設定の考え方・式や説明

負担金は、規約に基づき均等割（30%）、人口割（70%）により分担するものであり、成果指標を掲げることは難しい。

Check

## 事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

**妥当性の評価**

市の関与の妥当性必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高いや／B 高いや／C 普通／D 低いや／E 低い）：**B**

**効率性の評価**

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高いや／B 高いや／C 普通／D 低いや／E 低い）：**C**

**有効性の評価**

目的達成度 市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- ■ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高いや／B 高いや／C 普通／D 低いや／E 低い）：**C**

## 進行年度（H29年度）の改革改善内容

| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

| | |
|---|---|
| 説明 | 吉永地域の火葬業務を実施するため、和気北部衛生施設組合に加入し、火葬場の管理・運営費の分担金を引き続き、納付していく。 |

## 総合評価

法令で義務付けられてないが、実施しなければ吉永地域の市民の日常生活に支障をきたし妥当性は高い。
火葬件数が減少していることから、単位当たりコストは高くなっている。

総合評価（A 高いや／B 高いや／C 普通／D 低いや／E 低い）：**C**

Action

## 平成30年度の方向性・取組目標

| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

| | |
|---|---|
| 取組目標 | 組合は平成25年度末で解散予定であったが、協議の結果、火葬業務のみを継続することになった。<br>現在のところ、吉永地域の火葬業務を実施するため、和気北部衛生施設組合に加入し、火葬場の管理・運営費の分担金を納付していく予定である。<br>引き続き、各地域で実施している業務の統合を検討していく。 |

# 備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成28年度事業）

## 事業の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業開始年度 | | | |
| 総合計画 | 大項目 | 基本構想 | 05 | 生活環境政策「快適・活力」 |
| | 中項目 | 基本計画 | 09 | 環境を大切にして未来につなぐまち |
| | 小項目 | 施策 | 38 | 斎場の運営と墓地の整備 |
| 事務事業名 | | | 03 | 市有墓地管理事業 |

| | | |
|---|---|---|
| 根拠法令・例規等 | 墓地、埋葬等に関する法律<br>墓地等の経営の許可等に関する条例<br>備前市営墓地使用条例 | |
| 問合先 | 担当課（室） | 環境課 |
| | 職・氏名 | 衛生係長・神田順平 |
| | 電話 | 64-1821 |
| このシート作成に要した時間 | | 1.0 時間 |

Plan

## 事業の目的

| | |
|---|---|
| 対象（誰・何に対して） | 墓地区画を必要とする市民 |
| 目的（何のために） | 市民の墓地需要に対応するため。 |
| 事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか） | 墓地需要を満たす。 |

Do

## 事業の実績

目的を達成するため実施した事業

| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
|---|---|---|
| 市有墓地施設維持管理事業 | 市有墓地施設の維持管理を行う。 | ◎ |
| 市有墓地整備事業 | 市有墓地の区画造成や整備を行う。 | ○ |
| 市債元金・利子償還事業 | 借入金の償還を行う。 | △ |
| 墓地経営許可事業 | 宗教法人、個人墓地を設置しようとする者に対し、適正な墓地整備を目的として、設置許可や指導を行う | ○ |

## 決算額

| 事業費等 | | 単位 | 平成26年度実績 | 平成27年度実績 | 平成28年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 直接事業費 | 千円 | 3,310 | 1,258 | 2,372 |
| | 必要人員 | | 0.14人 | 0.12人 | 0.14人 |
| | 人件費 | | 1,006 | 935 | 1,052 |
| | 事業費計 | | 4,316 | 2,193 | 3,424 |
| 財源 | 国県支出金 | 千円 | | | |
| | 受益者負担 | | 1,460 | 3,473 | |
| | 繰入金 | | | | |
| | 市債 | | | | |
| | その他（　） | | | | |
| | 一般財源 | | 2,856 | -1,280 | 3,424 |
| 受益者負担比率 | | % | 33.8% | 158.4% | ― |

## 結果指標

| 結果指標名 | 単位 | 平成26年度実績 | 平成27年度実績 | 平成28年度実績 |
|---|---|---|---|---|
| 市有墓地の使用許可件数 | 説明 | 市有墓地の使用許可件数 | | |
| 結果指標量 | 件 | 4 | 7 | 2 |
| 対前年比 | % | ― | 175.0% | 28.6% |
| 活動コスト | 円 | 4,316,000 | 2,193,000 | 3,424,000 |
| 単位当たりコスト | | 1,079,000 | 313,286 | 1,712,000 |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

## 事業の成果

| 成果指標名 | 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市営墓地残区画数（H28年度～） | 目標値（A） | 0 | 0 | >=10 | >=10 |
| | 実績値（B） | 0 | 0 | 37 | 到達目標値 |
| | 達成率（B/A） | ― | ― | ― | >=10 |

成果指標設定の考え方・式や説明

市営墓地の残区画数【H28年度～】
墓地の需給バランスを鑑み、必要に応じて計画的な新設墓地の造成又は既存墓地の区画造成を行うことにより市民の需要を満たす。
【H27年度まで】個人墓地経営許可件数

Check

## 事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

### 妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ■ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ

- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

### 効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ■ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

### 有効性の評価

目的達成度市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ■ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

## 進行年度（H29年度）の改革改善内容

| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

説明：市営墓地の適正な維持管理を行う。
市民の墓地需要は引き続いてある。墓地返納による空き状況の把握を確実に行い、公募により墓地を提供していく。

## 総合評価

法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障を来す。H28年度は、墓地の使用許可数が少なかったため、単位当たりコストは増加している。
成果指標については、需給バランスを鑑みながら、今後の市営墓地造成を検討するため、H28年度から市営墓地残区画数に変更している。

総合評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

Action

## 平成30年度の方向性・取組目標

| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○ | | | | | |

取組目標：今後、墓地を返納する使用者も増加してくると思われるので、随時、需給バランスをみて対応してくことが重要。
引き続き、公募等を行い、墓地の空き区画を無くしていく。
市民や地区からの要望もあることから、引続き、需給バランスを踏まえ、市営墓地の造成整備を検討していく。